



高校生のための
キャリア
デザイン入門

「キャリアデザイン」という言葉が耳慣れない先生もいらっしゃるかもしれません。かつて日本では、学校を出て、就職をして、定年まで勤めるという「一本道」がありました。そうした一本道は消え去り、各々がさまざまな岐路に出くわすことが増えました。そのたびに考え、決断し、進む。また次の岐路で考え、決断し、進む。そのような繰り返しを否応なく求められる時代になったといえるでしょう。自らの「キャリア」を「デザイン」することが求められる時代になったのです。

今号は、高校生がキャリアデザインする力を身につけるために、高校ができることを考えていきたいと思います。

1章は、キャリアデザインについて、その考え方や指導方法のヒントを識者にうかがいます。2章は、進路指導に役立つキャリア理論を厳選してご紹介します。3章は、キャリアデザインの力をつける取り組みをしている高校をレポートします。最後に、資料編として、個人がキャリアを考えていく前提となる、各職種や各業界のリアルな現状を伝えます。

法政大学の児美川孝一郎教授が1章のなかで、「キャリアデザイン」というコンセプトを提唱し、キャリアを「現在進行形」で考えることの重要性を説いています。自らのキャリアも現在進行形であることを意識されると高校生のキャリアデザイン指導の方向性も見えてくるのではないのでしょうか。

キャリアデザインに力を入れる高校事例

多角的な取り組みを通して、段階的に生徒の主体性やキャリアを考える力を養う
宮城 仙台市立 仙台高校 >> p.16

多くの「出会い」の体験と学びの基礎を修得し自分で決める力を育てる
埼玉 国立 筑波大学附属坂戸高校 >> p.18

本当に学びたい分野を探しながら一生をかけてキャリアをデザインしていく力を身につける
東京 私立 中村中学校・高校 >> p.20

たくさんの大人とのふれあいと「人の役に立つ」ことの意識が一人ひとりの「自分未来史」を深める
広域通信制 私立 第一学院高校 >> p.22

X年後の幸せな自分を目指して小さな一歩を踏み出す
ベイビー・ステップ・プログラム
東京 都立 南葛飾高校 下西美穂先生 >> p.24